



ファームウェアバージョン :	4.7.4.2B301C
ハードウェアバージョン :	A1、A2
発行日 :	2020/10/28

本リリースノートには、ファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用の製品に対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい製品にインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の製品がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて	3
アップグレード手順 :	4
Web GUI を使用するアップグレード	4
追加機能 :	6
修正した問題点 :	6
コマンドラインインタフェースの変更点 :	6
既知の問題 :	6

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム： 4.7.4.2B301C	2020/10/28	DWC-2000	A1、A2

注意事項：

- GNU/Linux Bash Shell の脆弱性について(CVE-2014-6271)
DWC-2000 は、GNU/Linux Bash Shell に対する脆弱性はありません。CLI および Web インタフェース経由で Shell インタフェースを使用することがないためです。
- SRTP メモリリークについて(CVE-2014-3513)
DWC-2000 は、SRTP メモリリークに対する脆弱性はありません。OpenSSL 1.0.x バージョンの SRTP をサポートしていないためです。
- “no-ssl3”オプションによるビルドの脆弱性について
DWC-2000 は、“no-ssl3”オプションによるビルドに対する脆弱性はありません。現在のコードベースでは、“no-ssl3”オプションによるビルドを設定しないためです。
- DWC-2000/A2 (H/W version A2) では、v4.6.0.2 よりも前のバージョンにダウングレードして使用することはできません。
- 「4.7.4.2B101C またはそれ以降のバージョン」から「v4.7.2.1B106C またはそれ以前のバージョン」へファームウェアをダウングレードした場合、設定は引き継がれません。(初期化されるか、古いバージョンで保存していた設定に戻ります。) IP アドレスも初期値 (192.168.10.1) に戻ります。ダウングレード後、再設定する必要があります。
- コンフィグファイルは取得時のバージョンより古いバージョンの機器にリストアすることはできません。

USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて

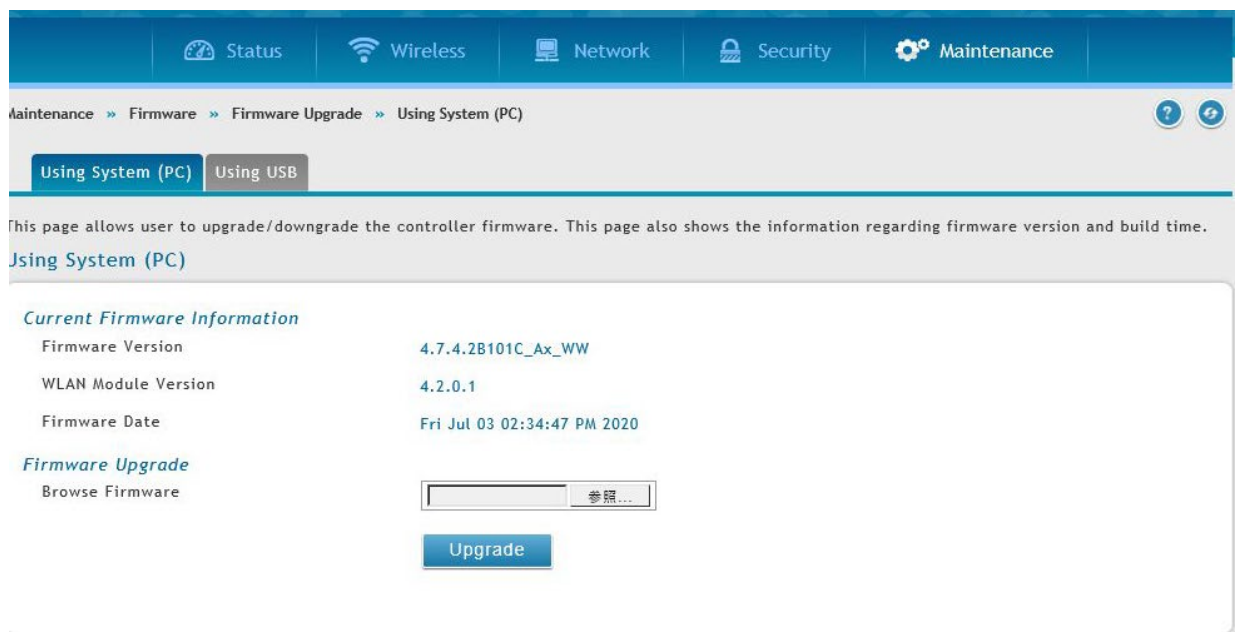
本製品は USB ドライブへコンフィグを自動的にバックアップ/リストアすることができます。
以下はバックアップ/リストアについての情報です。

1. USB ドライブが挿入されるとすぐに、コンフィグは自動的に USB ドライブへ保存されます。
ファイル名は“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”になります。(※USB ドライブ内にすでにバックアップされたコンフィグファイルが存在しない場合のみ)
2. 本製品のシステム LED が橙色に 3 回点滅した場合は、バックアップが開始されています。
3. Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグを保存することができます。ただし、すでに USB ドライブ内に保存されているコンフィグファイルと、新しく保存するコンフィグのモデル名とシリアルナンバーが一致する必要があります。
4. リブートを行った場合、本製品はコンフィグファイル（<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg）の有無をチェックします。コンフィグファイルが存在した場合は、そのファイルがリストアされます。
2 つの USB ドライブにコンフィグファイルが存在した場合、1 つ目の USB ドライブにあるファイルがリストアされます。
5. USB ドライブに保存できるのは、各モデル名につき 1 つのコンフィグのみです。（フォーマットは、“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”です）
6. 工場出荷時状態の本製品に USB ドライブを挿入しリブートを行った場合は、USB ドライブにコンフィグは保存されません。本製品に設定を変更したコンフィグファイルが存在しないためです。Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグが保存されるようになります。

アップグレード手順：

Web GUI を使用するアップグレード

1. Web GUI にログインします。
IP アドレス、サブネットマスク、ユーザ名、パスワードの初期値は以下の通りです。
 - IP アドレス：192.168.10.1
 - サブネットマスク：255.255.255.0
 - ユーザ名: admin
 - パスワード: admin
2. **Maintenance > Firmware > Firmware Upgrade > Using System(PC)**の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



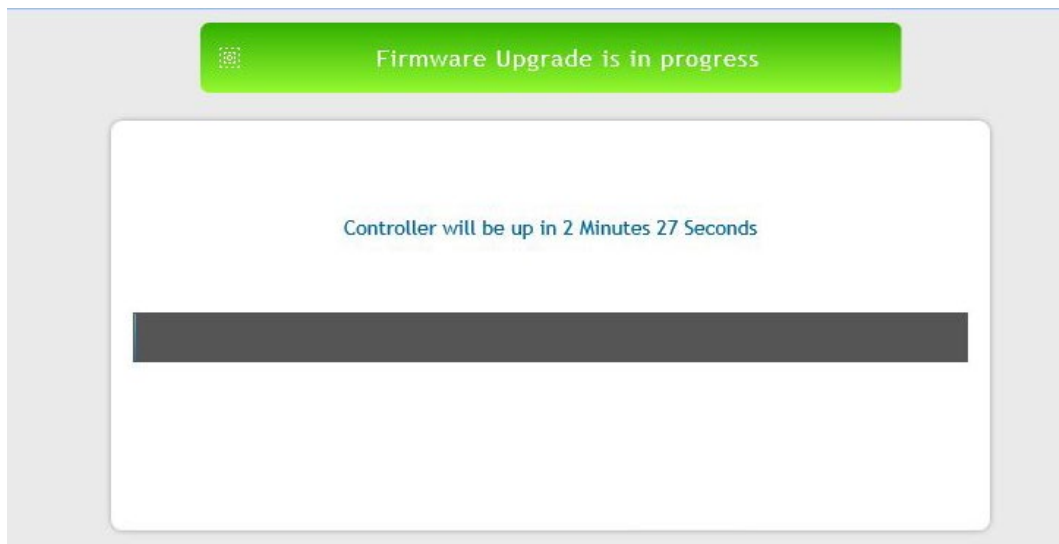
3. 「Firmware Upgrade」の「参照」をクリックします。
4. ファームウェアを選択後、「Upgrade」をクリックします。
5. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

6. 進行状況を表す画面が表示されます。

注意：

ファームウェアのアップグレードには数分かかります。

アップグレード中は、電源を切ったり Web ブラウザを閉じたりせず、そのままお待ちください。



7. ログイン画面が表示されるので、再度 Web GUI にログインします。

8. 画面右上部の「Firmware Version:」でファームウェアバージョンを確認します。

※ログイン後にセットアップウィザードが表示される場合、ウィザードを中断して後から設定を行うことも可能です。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.7.4.2B301C	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
4.7.4.2B301C	<ol style="list-style-type: none"> DWL-X8630AP の AP Profile 設定において LACP を選択している場合に、Manage モードに設定できない問題を修正致しました。 AP Profile SSID において、Security に WEP を選択した SSID が作成出来ない場合がある問題を修正致しました。 Radius Profile 名に . (ドット) を含む Radius Profile を General、または SSID に適用しても、Default-RADIUS-Server が使用される問題を修正致しました。

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.7.4.2B301C	特になし

既知の問題：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.7.4.2B301C	<ol style="list-style-type: none"> USB 経由でコンフィグがリストアできない問題。NTFS フォーマットの場合に失敗します。 Wlan Visualization 機能が正常に動作せず、再起動後に Managed AP が保存されない問題。 General Setting 画面の Detected Clients Delete 項目について、Help 画面の説明が間違っている問題。正しくは初期値で有効となります。 GCMP-256 を解除できないため、WPA2 Enterprise と WPA3 Enterprise の混在環境では SSID を分ける必要があります。＜制限事項＞

Copyright 2006-2020 D-link Japan K.K.